



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月1日

上場会社名 岩崎電気株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6924 URL <https://www.iwasaki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 義剛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員経営企画室長 (氏名) 池田 顕司 TEL 03-5846-9010
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	9,014	△2.9	△640	—	△483	—	△452	—
2022年3月期第1四半期	9,282	△0.4	△209	—	△139	—	△139	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △140百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 187百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△61.64	—
2022年3月期第1四半期	△18.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	63,146	32,329	51.2	4,400.89
2022年3月期	65,585	33,434	51.0	4,551.68

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 32,308百万円 2022年3月期 33,416百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	130.00	130.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	0.00	—	130.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	3.4	3,300	0.4	3,300	△4.7	2,400	3.0	326.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	7,821,950株	2022年3月期	7,821,950株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	480,561株	2022年3月期	480,436株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	7,341,453株	2022年3月期1Q	7,566,880株

(注) 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式については、自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	8
地域別売上高	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧米では、各国政府の景気対策もあり経済活動の正常化が進み、個人消費や設備投資が増加するなど、景気は回復基調で推移しました。中国では、ゼロコロナ政策による都市封鎖などにより経済活動が制限され、景気回復のペースは鈍化しました。わが国経済は、経済活動の段階的な再開により景気を持ち直しの動きが続いているものの、資源価格の高騰や、世界的な半導体不足の長期化、ウクライナ情勢の緊迫化に加え、足元では円安が急激に進行するなど、景気の先行きに対する不透明感は一層強まりました。

このような環境の中、当社グループは「光技術と新たな技術の結合で、社会・産業インフラを支える先進企業を目指す」という経営ビジョンのもと、事業領域の拡大、社会への新たな価値提供の実現に向け、新規事業の取り組みと構造改革を推進するとともに、照明事業と光・環境事業において、独自性のある商品開発と周辺事業を含めたソリューションビジネスの展開を図り、商品提供にとどまらない、あらゆる付加価値提供に取り組んでおります。当第1四半期連結累計期間においては、市場のニーズを捉えた新商品の開発を行うとともに、展示会などのイベントを通してお客様との接点を増やし、新商品の訴求を積極的に行っておりました。

なお、調達、製造においては、電子部品などの長納期化の影響で一部の製品で生産の遅延が生じ、また、材料の高騰や為替の影響を受けたことにより、利益面では厳しい状況となりました。

これらの結果、売上高は9,014百万円（前年同期は9,282百万円で2.9%の減少）、営業損失は640百万円（前年同期は209百万円で431百万円の悪化）、経常損失は483百万円（前年同期は139百万円で343百万円の悪化）、親会社株主に帰属する四半期純損失は452百万円（前年同期は139百万円で313百万円の悪化）となりました。

なお、当社グループの売上高、利益は期末に集中する季節的傾向があり、各四半期の売上高および利益は、通期実績の水準に比べ乖離が大きくなっています。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<照明>

照明事業は、国内では、LED道路灯、LED街路灯などの売上高は、前年同期と比較してほぼ横ばいで推移し、また、工場施設向けの特種環境用照明器具などの売上高は増加となりました。一方、海外では、北米において従来型光源の需要低迷の影響で売上高は減少となりました。利益面においては、材料の高騰や為替の影響を受け、セグメント利益は減少となりました。

これらの結果、売上高は6,635百万円（前年同期は6,541百万円で1.4%の増加）、セグメント利益は84百万円（前年同期は283百万円で70.3%の減少）となりました。

<光・環境>

光・環境事業は、UVキュア分野では、FPD関連において前年同期ほどの件名納入に至らず、売上高は減少となりました。殺菌関連分野では、感染症対策需要の一段落もあり売上高は減少となりました。環境試験装置分野では、売上高は横ばいで推移しました。

これらの結果、売上高は2,394百万円（前年同期は2,753百万円で13.0%の減少）、セグメント損失は226百万円（前年同期は31百万円で195百万円の悪化）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当決算短信に記載されている2023年3月期の業績予想ならびに将来予測に関する記載内容につきましては、いずれも当社および当社グループ会社の事業に関連する業界動向の見通しをはじめ、国内および諸外国の経済状況、ならびに各種通貨間の為替レートの変動、その他業績に変動を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としております。これらは、市況、競争状況、新商品・新サービスの導入およびその成否、ならびに照明関連産業市場、光・環境産業市場の世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の売上高および利益などは、当決算短信に記載されている予想数値と大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

なお、現時点における通期の業績予想につきましては、2022年5月12日に公表しました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,939	15,476
受取手形、売掛金及び契約資産	12,719	8,310
電子記録債権	1,986	2,185
商品及び製品	5,647	7,127
仕掛品	1,671	1,856
原材料及び貯蔵品	5,560	6,580
その他	680	1,017
貸倒引当金	△42	△46
流動資産合計	45,162	42,507
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,941	8,941
その他(純額)	6,102	6,190
有形固定資産合計	15,043	15,131
無形固定資産		
	332	299
投資その他の資産		
その他	5,060	5,221
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	5,045	5,206
固定資産合計	20,422	20,638
資産合計	65,585	63,146
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,002	5,194
電子記録債務	5,273	4,656
短期借入金	640	610
1年内返済予定の長期借入金	200	50
未払法人税等	804	130
賞与引当金	731	182
クレーム処理引当金	62	63
その他	1,830	3,470
流動負債合計	15,544	14,358
固定負債		
長期借入金	2,550	2,550
退職給付に係る負債	11,465	11,299
資産除去債務	136	136
その他	2,454	2,472
固定負債合計	16,606	16,457
負債合計	32,151	30,816

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,640	8,640
資本剰余金	2,069	2,069
利益剰余金	20,498	19,082
自己株式	△823	△824
株主資本合計	30,384	28,967
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,623	1,522
土地再評価差額金	2,136	2,136
為替換算調整勘定	△1	374
退職給付に係る調整累計額	△726	△692
その他の包括利益累計額合計	3,031	3,340
非支配株主持分	17	21
純資産合計	33,434	32,329
負債純資産合計	65,585	63,146

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	9,282	9,014
売上原価	6,106	6,129
売上総利益	3,176	2,884
販売費及び一般管理費	3,385	3,525
営業損失(△)	△209	△640
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	55	66
保険配当金	21	21
為替差益	0	79
その他	27	17
営業外収益合計	105	184
営業外費用		
支払利息	18	13
持分法による投資損失	14	11
その他	2	1
営業外費用合計	35	27
経常損失(△)	△139	△483
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除売却損	0	2
特別損失合計	0	2
税金等調整前四半期純損失(△)	△139	△484
法人税等	△0	△34
四半期純損失(△)	△139	△450
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	2
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△139	△452

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△139	△450
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	△100
為替換算調整勘定	284	297
退職給付に係る調整額	44	33
持分法適用会社に対する持分相当額	37	78
その他の包括利益合計	326	309
四半期包括利益	187	△140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	187	△143
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、原則として、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	照明	光・環境	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,537	2,744	9,282	—	9,282
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	8	12	△12	—
計	6,541	2,753	9,294	△12	9,282
セグメント利益又は損失(△)	283	△31	252	△461	△209

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△461百万円は、報告セグメントに配分しない全社費用等であり
ます。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	照明	光・環境	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,625	2,389	9,014	—	9,014
セグメント間の内部売上高又は振替高	9	5	14	△14	—
計	6,635	2,394	9,029	△14	9,014
セグメント利益又は損失(△)	84	△226	△142	△498	△640

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△498百万円は、報告セグメントに配分しない全社費用等であり
ます。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 補足情報

地域別売上高

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日) (単位:百万円)

日本	北米	アジア	その他	計
7,632	915	687	47	9,282

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) (単位:百万円)

日本	北米	アジア	その他	計
7,695	852	409	56	9,014

以上